

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから3028日経過しました
- ☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は167日経過しました
- ☆ISS動向

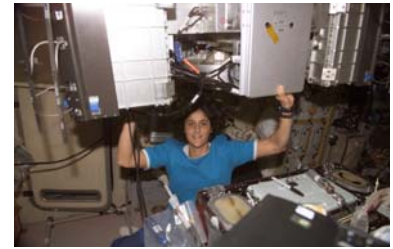
第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン、スニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士は、2月22日に行われた船外活動の後片付けやISSのメンテナンス作業、科学実験などを行いました。

当初、3月にISSに到着するアトランティス号(STS-117)の準備作業を行う予定でしたが、STS-117の打上げが4月以降へ延期となったため、地上の管制官たちは第14次長期滞在クルーの残り数週間の作業と第15次長期滞在クルーが行うISS内での作業内容の再検討を行っています。

第15次長期滞在クルーのフォードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士と宇宙旅行者のチャールズ・シモニー氏の3名を乗せたソユーズ宇宙船(14S)は4月8日にカザフスタン共和国バイコヌール宇宙基地から打ち上げられ、4月10日にISSへドッキングする予定です。



船外活動片付け作業中のロペズ-アレグリア(左)、チューリン(右)両宇宙飛行士



メンテナンス作業中のウィリアムズ宇宙飛行士 (写真は全てNASA提供)

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)の準備状況”

3月の打上げに向けて、NASAケネディ宇宙センター(KSC)ではスペースシャトル・アトランティス号の最終準備作業が進められていましたが、米国時間2月26日夕方に射点周辺で発生した雹(ひょう)を伴う激しい嵐により、外部燃料タンク(External Tank: ET)の断熱材に7,000箇所以上の損傷が発生しました。

NASAは同27日に損傷箇所を検査した結果、ETの修理をスペースシャトル組立棟(Vehicle Assembly Building: VAB)で行うことを決定し、アトランティス号の打上げは4月以降へ延期することを発表しました。同3月4日に、アトランティス号は約7時間かけて射点からVABへ戻りました。

なお、STS-117飛行準備審査会(Flight Readiness Review: FRR)は予定通り同2月27日、28日の2日間開催され、今回の断熱材損傷を除き、準備状況に問題ないことが確認されました。新しい打上げ予定日は、ETの修理方法や作業期間などが確認された後、発表される予定です。



雹による断熱材損傷の状況(白い点々が損傷箇所)



修理のためVABへ戻るアトランティス号 (写真は全てNASA提供)



“インフォメーション”

☆「宇宙ことづくりフォーラム」東京講演会 3月30日開催！

JAXAは、宇宙材料フォーラムと共催で宇宙ことづくりフォーラム東京講演会を開催いたします。今回のテーマは、「あなたの経験を宇宙へ」です。従来進めてきた創薬や新しい機能材料の研究開発の場だけではなく、「きぼう」日本実験棟をわくわくする“ことづくり”の場としても活用していただきたいと願っています。

宇宙環境利用をライフワークに活動している向井宇宙飛行士を中心に、好奇心豊かな講師による講演会を開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

■開催日時： 2007年3月30日(金) 13:30～17:30 ■会場： ホテルフロラシオン青山

■入場料： 無料

※参加申込みやプログラムなど、詳細は下記URLをご覧ください。

http://iss.sfo.jaxa.jp/topics/2007/0330_kotozukuri/index.html

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。